

朗読者・絵本専門士の派遣レポート Vol.2

京都ブックサミット2024

「大学生による絵本ビブリオバトル×浦島太郎オリジナル絵本」 講座修了生が読み聞かせ会を開催

文字・活字文化推進機構では読書推進の一環として、全国の文学館・美術館・博物館などで開催されるイベントへの朗読者・絵本専門士の派遣をお手伝いさせていただいております。

特別企画として、11月23日（土・祝）に京都市で開催された京都ブックサミット2024の児童書・一般書謝恩価格販売コーナーでのイベント「大学生による絵本ビブリオバトル×浦島太郎オリジナル絵本」にて、「山根基世の朗読指導者養成講座」の7期修了生、MBSアナウンサーの関岡香さんが『とこよのくにのうらしまさん』を朗読しました。親子連れで30名程度の参加がありました。



▶朗読者・関岡香さんの感想・コメント

丹後の方言で描かれていてイントネーションを地元の方に教えていただき臨みました。

雨風吹く中でしたが、多くの親子が昔話の浦島太郎と浦島伝説の物語の違いや子どもたちの色彩豊かな絵に興味を持って、熱心に聞き入ってくれました。



当日の読みきかせの様子

▶関岡香さんが朗読された絵本

『とこよのくにのうらしまさん』とは.....

日本人なら誰も知っている『浦島太郎』のお話。この源流は、京都府伊根町の「浦嶋神社」にあると言われていいます。浦嶋神社に伝わる、皆さんが知っているものとは少しだけ違う『浦島太郎』原点のお話にもとづいた絵本『とこよのくにのうらしまさん』。この絵本は2011年に京都府で開催された第26回国民文化祭のイベントとして、伊根町で「民話の祭典」が開催されるにあたり、京都の浦嶋神社近くの伊根町立本庄小学校の子どもたちと絵本作家の田島征彦さんが一緒に作った絵本です。当時の1年生から6年生までが、夏休みを利用して、お話づくりはもちろん、海の景色や人物を絵の具で描いて、一生懸命作成した力作です。浦嶋神社が来年2025年に創建1200年を迎えるにあたって、注目される一冊になりそうです。

【大学生による絵本ビブリオバトル 参加者の推し本】

『ぬいぐるみおとまりかい』（風木一人作/岡田千晶絵 岩崎書店）

『りんごかもしれない』（ヨシタケシンスケ プロンズ新社）

『ねこのおすしやさん』（鈴木まもる 偕成社）

『そそそ』（たなかひかる ポプラ社）



当日の大学生絵本ビブリオバトルの様子

朗読者・絵本専門士の派遣事業では、2024年度は最大20館への派遣を予定しております。企画を検討されているご担当者様からのお問い合わせ・ご応募をお待ちしております。

詳しくはこちら！▶



<https://bit.ly/3z0J61V>